

2026 6

水無月 June
令和8年 丙午

神武紀元2686年 平成38年 昭和101年
大正115年 明治159年 イスラム暦1447年/1448年




あけてごらん^{しま}縞

三つ折りの包紙に「あけてごらん縞」と書かれ、開くと縞模様の反物に「ひのこの末」「天明七年大値引」と書かれた札がついている。「大」値引で大の月であることを示し、縞模様の線の数で月を表している。上から順に、一、四、七、九、十、十二本となっており、これは天明七年(1787)丁未の大の月と一致する。

大小の並びは以下の通り

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二
大 小 小 大 小 小 大 小 大 大 小 大

日 Sunday	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday	土 Saturday
第23週  仏滅 芒種 / ほうしゅ 旧暦5月、午の月の正節で、新暦6月6日頃である。雨が間断なく降り続き、農家はことのほか多忙を極める。芒種とは芒(のぎ)のある穀物、すなわち稲を植えつける季節を意味している。	1 先勝 旧四月十六日	2 友引 四月十七日	3 先負 四月十八日	4 仏滅 四月十九日	5 大安 世界環境デー 四月二十日	6 赤口 芒種 鯉鱒生(かまきりしょうず) かまきりが姿を見せる
第24週 7 先勝 四月二十二日	8 友引 四月二十三日	9 先負 三りんぼう 四月二十四日	10 仏滅 時の記念日 四月二十五日	11 大安 入梅 腐草為螢(くされたるくさほたるとなる) 腐った草がほたるに姿を変える 四月二十七日	12 赤口 四月二十七日	13 先勝 四月二十八日
第25週 14 友引 四月二十九日	15 大安 五月一日	16 赤口 梅子黄(うめのみきばむ) うめの実が黄色く色づいてくる 五月三日	17 先勝 ヒジユラ暦新年 五月三日	18 友引 五月四日	19 先負 旧端午の節句 五月五日	20 仏滅 五月六日
第26週 21 大安 父の日 三りんぼう 夏至 乃東枯(なつかれくさかる) 夏枯草(かこそう)が枯れる	22 赤口 五月八日	23 先勝 五月九日	24 友引 五月十日	25 先負 五月十一日	26 仏滅 菖蒲華(あやめはなさく) あやめの花が咲き始める	27 大安 五月十三日
第27週 28 赤口 五月十四日	29 先勝 五月十五日	30 友引 五月十六日	 夏至 / げし 旧暦5月、午の月の中気で、新暦6月21日頃である。この日、北半球では昼が最も長く、反対に夜が最も短くなる。夏至は夏季の真中で、梅雨のまっ盛りである。	時の記念日 天智10(671)年4月25日に初めて漏刻をつかって時を知らせたことを記念し、太陽暦に換算した6月10日を1920年から「時の記念日」に制定した。天智天皇を祀る近江神宮ではこの日に古式ゆかしく漏刻祭がおこなわれる。	入梅 「梅雨に入る時期」という意味を込めて「入梅」という雑節が設けられている。天球上を運行する太陽の軌道である「太陽黄経」が80度になる日のことで、田植えのタイミングをはかる目安としても、古来より梅雨入りの時期を知ることが重要視されてきた。6月の旧名を「水無月」というのは、一説には梅雨の長雨で天上の水が降り注ぎ、「天界に水が無くなるため」との解釈もあるという。	ヒジユラ(イスラム)暦 月の朔望だけを基礎に据えている純粋な太陰暦。月初は中国暦のように朔の起きた日ではなく、朔の一面日後、新しい月が見られた日に定められる。また、1日の始めも日没としている。奇数月を30日、偶数月を29日とし、1年間で354日(閏年は355日)となる。そのため、季節とのずれは毎年約11日に達し、10年で3か月半、33年でほぼ1年の差を生じることになる。西暦622年のヒジユラ(聖遷)を紀元としている。